



光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

6/16 (土) 第1回授業参観 with ガイド

間もなく6月となります。学期も半ばにさしかかり、最も学習の充実する6月を迎えます。4月より積み重ねてきた日々の学習成果や日頃の学ぶ姿を自由に見ていただきたく第1回授業参観日を、6/16 (土) に設けました。(別途、御案内を配布します。) 新入生や転入生の保護者の方にとっては、初めての参観日となりますので、本学園としての授業参観の形を以下に御説明いたします。

事前に参観ガイドを各家庭に配布します！

何の授業が、どこの教室で、何をねらいとして、どのような工夫をしているかを、分かりやすく1授業を1枚にまとめて、部門・学部毎に冊子した「参観ガイド」を参観日の2日前頃までに全家庭に配布します。(病弱教育部門の方には、御自宅に郵送する場合があります。) 各ページの冒頭には、授業名・指導者名・時間・場所をインデックスとして記します。そのあとはQ&A形式で授業のポイントを御紹介します。

Q1：学習するのはどんな学園生たちですか？

Q2：学習のねらいは？

Q3：この授業ではどんな活動を行いますか？

Q4：教材・教具や学習環境で工夫していることは？

Q5：教職員の関わり方のポイントは？

Q6：この授業では、アクティブ・ラーニングのどの視点に重点を置いていますか？

<主体的な学び・深い学び・対話的な学び>

Q7：参観の見どころは？

小5・6年には中学部参観ガイド、中2・3年には高等部参観ガイドを併せて配布します！

小・中学部各高学年の御家庭には、近づく進級、入学相談に備え、次のステージの授業についてもイメージをもっていただけるように、中学部または高等部の参観ガイドもお渡しします。限られた時間となりますが、どちらの学部の授業も自由に見て頂いて構いません。

参観時間の設定は、1時間目の後半と2時間目です！

一日の始まりの授業である1時間目は、いつものメンバーと教職員のもとで、落ち着いて授業ができるように配慮し、1時間目の後半から参観時間としました。学習グループによっては個別課題の学習に取り組んでいる時

間帯です。次の2時間目はフルタイム御覧いただけます。じっくり参観も大歓迎ですし、他の授業を様々参観することも可能です。自由に御参観ください。参観タイム終了後は、グループごとにグループリーダー教員等から、当日の授業を通して、授業計画全般等の御説明の場を設けます。授業をよりよくしていくための御意見も頂戴します。(配布する参観アンケート用紙にも、ぜひ率直な御意見をお寄せください。)

今年度、本校が指定校となる事業等の御紹介

本校は、都教育委員会から以下の事業指定校や委員委嘱を受けています。指定校となると、事業予算を活用して専門家招聘ができるなど、より高いレベルで新たな教育課題に取り組むことができます。また委員指名を受けると、委員会の場で得られる最新情報に基づく優れた手法を本校の教育活動で展開できる良さがあります。

医療的ケア関連 ◆医療的ケアが必要な児童・生徒の学習機会拡充のための専用通学車両運行の実施校：都肢体校全校18校◆都立特別支援学校における人工呼吸器の管理モデル事業指定校：本校1校のみ。◆特別支援学校医療的ケア運営連絡協議会(校長・副校長等3名)

基礎学習や読書指導関連 ◆言語活動及び読書活動充実事業委員会(委員長：校長、読書部会：泉副校長等)

オリ・パラ・スポーツ等の関連 ◆オリンピック・パラリンピックアワード校：小中高特併せて全135校(内特別支援は本校他6校)※本校が重点的に育成する資質は「豊かな国際感覚」です。◆都立特別支援学校におけるスポーツ教育推進事業：パラリンピアン等の学校派遣。◆都立特別支援学校スポーツ教育推進事業◆夢・未来プロジェクト実施校(体験教室及び交流推進)

防災関連 ◆特別支援学校の宿泊防災訓練(全特支校)。

正門の車両扉・通用扉の施錠・閉扉に御協力を！

正門内が傾斜地となっているだけでなく、正門前に横断歩道があることからガードレールが無く、不意の飛出し等の事態となれば交通事故のリスクがあります。さらに不審者の侵入防止も大切です。そこで簡単な施錠器具を付けるように改修中です。出入りされる方には、少し御不便をかけることとなりますが、日常の閉扉とあわせて御協力をお願いします。 校長 田村 康二郎

寄宿舎について



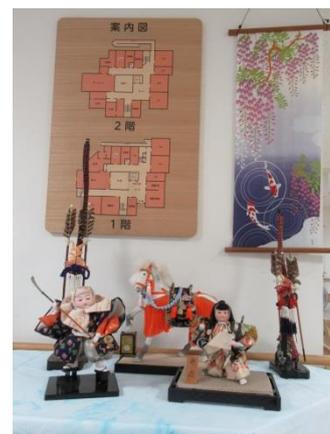
4月10日火曜日に入舎式があり、平成30年度の寄宿舎生活が始まりました。

今年度は、肢体不自由教育部門(S部門)4名、病弱教育部門(B部門)9名の両部門合わせて、13名の児童・生徒が寄宿舎で生活しています。S部門には、2名の島嶼生が在籍し土曜日、日曜日にも寄宿舎で生活することがあります。

B部門の生徒は、東京都全域が学区で全寮制が基本になります。S部門の生徒は、東京都が示す入舎基準を満たすことが条件となります。

- 寄宿舎は以下の4つを指導目標にしています。
- ◎生活リズムを身に付け、基本的な生活習慣の確立を図る。
 - ◎自分の病気を正しく理解し、健康回復を目指すと共に自尊感情を育てる。
 - ◎自治的な活動を通して、望ましい人間関係を築き社会性を育てる。
 - ◎自然体験、季節行事などの文化的な活動を通して変化に富んだ生活にする。

寄宿舎では、夏季休業中の7月31日(火)午後、サマーデーを計画しています。在校生のみならず、両母体校の卒業生も参加対象となりますので、参加をお待ちしています。



(主任寄宿舎指導員 長谷川 宏敬)

B部門 「移動教室事前学習」 中学部・「緑化計画」 高等部



5月11日、18日に、移動教室の事前学習を行いました。下調べをしたり、予定を立てたりする活動の練習を兼ねて、豪徳寺・梅ヶ丘散策に行きました。学校から遠くない場所ですが、知らなかったことが多く、新たな発見がありました。天候にも恵まれ、行く先々で、風景写真を撮ったり、教員と会話をしたり、教室の外での授業を楽しみました。



B部門高等部生徒会の提案で、校内の緑化計画を進めています。S棟前の花壇に残っていた球根を抜いて、新しい土を混ぜて土作りをしました。

5月16日に、2年生が、プランターに種蒔きをしました。ラベンダー、かすみ草、早咲きコスモス等を丁寧に植え、水やりをしました。プランターや花壇にたくさんの花が咲くように、これから、世話を続けていきます。(主幹教諭 岡田 典子)

S 部門 「日々の生活の様子」 高等部

ゴールデンウィークも終わり、高等部の生徒たちは、日々落ち着いて学習に励んでいます。

4月に入学した新1年生も高校生活に慣れてきました。中学校と比べどの教科もレベルアップしていますが、毎時間しっかり頑張っています。

2年生は、中核学年としてどのグループにおいても、学習や行事などで全体を引っ張って行ってほしいところです。生徒も1年前と比べるととても成長し、先輩の風格を醸し出しています。

最後は、3年生。今月下旬から進路実習がスタートします。卒業後を見据えた活動が始まりますね。先日の学年 HR の時間では「進路実習に向けての心構え」を学習しました。(写真右上左)



学年 HR の時間には1年(写真右上)や2年(写真右下)も校外行事に向けた準備や親睦を兼ねた取組を行いました。



(主幹教諭 長 雅洋)

S 部門 「生徒会承認会」 中学部



承認のあと、泉副校長先生から「18歳になったら選挙権がある」というお話しや「みんなでより良い学校を作ってほしい」というエールの言葉をいただきました。

S 中学部では、3人の司会進行で、生徒会に立候補した生徒8名の承認会を行いました。ポスターを廊下に掲示し、一人一人が「学校を盛り上げる!」「挨拶がんばる」などの「公約」を発表し、みんなの拍手で承認をされました。

生徒会は、交流・学部集会・学校行事で活躍します。8人だけでなく、支える中学部全員で協力し合って学校を盛り上げてほしいです。

(教諭 久保 菜海・主任教諭 達 直美)

S 部門 「第67回 はたらく消防の写生会」 小学部



Dグループ、Hグループ合同で、消防署において消防車を描いたり、消防車に乗る体験をしたりしました。間近に見る消防車にみんな大喜び。

日々私たちの町を守ってくれている屈強な消防隊員の方々の優しさに触れながら、写生では、塗ったり形を写したり、一人一人、自分らしく消防車の絵を思い思い描くことができました。(教諭 石坂菜未)